教育広報

かけはし

第63号　平成16年3月17日発行
千代田区教育委員会

和泉小学校ビッグバンド部「ふれあいコンサート」

主な記事

☆ 平成16年度の教育目標（概要）
☆ 神田地区3中学校の再編統合について
☆ 不登校対策に取り組んでいます
☆ トレーディング・ゲームを開催しました
☆ 三学期のできごと

結成4周年となった和泉小学校ビッグバンド部。
地域の方々との交流のひとつにと「ふれあいコンサート」を始めました。
これから、回を重ねるごとに地域の「名物」となることが期待されます。

ISO14001認証取得
千代田区役所

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています

平成16年度の教育目標（概要）

千代田区教育委員会は、「千代田区新世紀構想」に示された基本理念である「都心の魅力にあふれ、文化と伝統が息づくまち千代田」の実現を目指し、未来を担う子どもたちに対して以下に示した人間像の育成に向けて教育を推進します。

- 社会規範を身に付け、社会に貢献しようとする人間
- 個性を磨き、生涯を通じて学ぶ意欲と創造力をもった人間
- 豊かな心を備え、国際社会で活躍できる人間

また、学校教育及び社会教育を充実し、誰もが生涯を通じて主体的に学ぶことのできる生涯学習社会の実現を図るとともに、受け継がれてきた伝統文化を育てながら、千代田らしい新たな文化を創り出していけるようにします。

そして、教育は、家庭、学校及び地域のそれぞれが責任を果たし、連携して行われなければならないとの認識に立って、千代田区に住み、働き、学び、集う、すべての人々が教育に参加することを目指します。

千代田区教育委員会の基本方針

【1．人権尊重の精神と社会性をはぐくむ教育の推進】

すべての学校教育活動を通して人権教育及び心の教育を充実させるとともに、社会性・公共の精神をはぐくむ教育を推進します。

【2．個性と創造力を伸ばす教育の推進】

基礎的な学力の向上を図るとともに、探究心、発想力や創造力を伸ばす教育を推進します。あわせて、特色ある学校づくりを推進します。

【3．国際化、情報化社会に対応する教育の推進】

国際理解教育をより一層充実し、世界の中の日本人としてのアイデンティティを育てる教育を推進するとともに、情報教育や環境教育の推進を図ります。

【4．「生涯を通じた学習」と「文化・スポーツ」の振興】

人々が生涯にわたり充実した生活をおくり、自己実現を図るよう、さまざまな学習機会を通じて、自ら学び、文化やスポーツに親しむ活動を推進します。

【5．区民の教育への参加と学校運営の充実】

大学や企業・ＮＰＯ等との緊密な連携・協力のもとに、地域に根ざし区民の期待に応えられる、開かれた学校運営を重視した教育行政を展開します。

コンピュータ教育（千代田小にて）

小・中陸上競技大会

平成17年4月

神田地区の中学校がスクラムを組んで、さらに充実・発展！
「一橋・今川・練成」の３中学校が

神田一橋中学校となります

※３校を象徴する「神田」と再編統合された学校は一橋中学校の場所となることから、「神田一橋中学校」としました。

３校の良さを一つにあわせて、神田にふさわしい学校を

「一橋・今川・練成」３校の歴史・伝統・文化を継承・発展させ、未来を拓く

千代田区は不登校対策に全力で取り組んでいます

教育研究所の取り組み

全国で13万人を超える不登校の児童・生徒

文部科学省の調査によると、平成14年度全国の不登校児童生徒（年間30日以上の欠席者）数は13万1,２１１人と報告されました。前年度より若干減少したものの、小学生では２８０人に１人、中学生では37人に１人という割合は、依然として膨大な数で、若者たちの社会問題にまで発展しています。

不登校に陥るきっかけは、友人や教師との関係をめぐる問題・学業不振・部活動への不適応・入学や進級時の不適応など学校生活に起因するもの、家庭環境の急激な変化・親子関係をめぐる問題・家庭内の不和など家庭生活に起因するもの、その他、本人の問題に起因するものなどが挙げられます。

このように、不登校となる背景にある要因や直接のきっかけは様々で、特定することができないことも多いということに留意する必要があります。

例外ではない千代田区の児童・生徒

千代田区内の児童生徒も決して例外ではありません。そこで教育研究所相談部として不登校やその傾向にある児童生徒・その保護者・担任の先生との相談をとおして、学校復帰を目標に、「スクールカウンセリング」「教育相談」「適応指導教室（白鳥教室）」の三つの柱で対応しています。

〈スクールカウンセリング〉

教育相談の相談員（臨床心理士）がスクールカウンセラーとして各学校を定期的に訪問し、学校の先生や保護者と不登校の子どもへのかかわりを話し合います。長期的な面接相談が必要な場合は、定期的に親子が研究所での教育相談（来所相談）を受けるように勧めています。教育相談の相談員が各学校のスクールカウンセラーを兼ねているため連携が図りやすく、学校復帰のための早期対応が可能です。

〈教育相談〉

保護者と子どもそれぞれに、臨床心理士の資格をもった相談員が個別のカウンセリングを行っています。保護者とのカウンセリングでは、子どもの行動をどう理解するか、家庭でどう対応するかなどを話し合っていきます。また子どものカウンセリングでは、子どもの気持ちを理解するように努めながら、子ども自身が動き始めることができるように援助していきます。その後、小集団での適応力を培うために適応指導教室「白鳥教室」への入級を勧めています。

〈白鳥教室〉

不登校の子どもたちが、学校の代わりに小集団で学習活動や体験活動をするための場で、２名の指導員が、学習および集団活動の指導に当たっています。入級までには、見学や短時間の体験をとおして徐々に気持ちを高め、焦ることなく本人の意志を尊重しながら進めています。入級に当たっては、保護者から在籍校学校長をとおして「入級申込書」を教育研究所に申し込んでいただき、担当の相談員と入級時期などについて相談を進めて決定されます。

カリキュラムの中には、個々に対応した学習の他、スポーツ・ゲームや調理実習・校外学習などの体験学習も定期的に取り入れています。通級している生徒の在籍校とは定期的に連携を図りながら、学校復帰に向けて対応しています。

教育研究所をお気軽にご利用ください

不登校に陥った場合、学校に行けない本人自身もなぜ学校にいけないのか、理由がよく分からないことが少なくありません。子どもによっては学校に行く準備をするのですが、朝になるとどうしても玄関を出られないという場合もあります。このような例をひとつ取っても、叱って無理にでも登校させた方がいいのか、休ませてあげた方がいいのか迷ってしまいます。子ども本人はもちろんのこと、一番身近でそれに対応する家族のストレスも大きいものです。

ご家庭での対応に困ったら、教育相談部が一緒に考えていきたいと思います。気軽にまずはご相談下さい。

相　談　受　付

電話受付　月～金 午前９時～午後５時
相談時間　月～金 午前10時～午後４時
＊予約制です(℡ ３２５６－８１４０)
＊個人のプライバシー・相談内容に関する秘密は厳守致します
＊千代田区在住・在勤・在学の方の相談を無料で受け付けています。

体験・参加型の経済シミュレーションゲーム『トレーディング・ゲーム』を区立小・中学校で開催しました

体験型起業家教育プログラムを小学校６校（富士見・千代田・お茶の水・番町・昌平・麹町）と中学校２校（一橋・今川）で、昨年11月から３月にかけて実施しました。

このプログラムは、単に経営者や創業者を生み出すための特別な教育ではなく、「自ら課題を発見し、自分で方策を考え、実行する力を持った自律的な人材」や「多少のリスクを恐れることなく、新しいことに積極果敢に挑戦する人材」を育成する、まさに『生きて働く力』をはぐくむ教育活動です。

番町小にて

シミュレーションゲームを通して、子どもたちの職業観や課題解決能力をはぐくむことをねらいとしています。

《ゲームの内容》

児童・生徒が、架空の国別チームに分かれ、配られる様々な資源を活用し、製品を作り、市場で換金する疑似体験の貿易取引ゲームです。途中、様々なトピックがゲームリーダーから指示され、課題を解決しながらゲームを進めます。最終的に一番お金を所有していることを競います。

番町小にて

九段小が東京都教育委員会表彰を受けました

1月22日(木)、九段小が、家庭・地域と連携した教育活動を認められ15年度東京都教育委員会表彰を受けました。

放課後や休日の学生ボランティア指導員による遊びの時間の確保や、教師と子どもたちが共に交流する「ワッハッハの日」、地域の方の指導による「九段囃子」などの日常の取り組みが評価されたものです。

今回、小学校で受賞したのは、九段小を含む都内2校でした。

放課後、校庭で学生ボランティアと

リセ・フランコ・ジャポネの園児と一緒に節分まめまき

2月3日(火)、富士見幼稚園の園児が、近くにあるフランス人学校「リセ・フランコ・ジャポネ」の幼稚園児と一緒に節分のまめまきを行い交流を深めました。

ミニバスケットボール大会が開催されました

2月22日(日)、区立総合体育館で第23回千代田区ミニバスケットボール大会が開催されました。区立小学校8校から17チームが参加しました。

各チームとも日頃の練習の成果を発揮して、闘志あふれる試合が行われました。大会成績は次のとおりです。

【Aチーム(各校選抜チームによるトーナメント)優勝】九段小学校A
【Bブロック優勝】お茶の水小学校B
【Cブロック優勝】九段小学校B
【Dブロック優勝】千代田小学校B
最優秀選手 安藤七生さん(九段小6年)

皇居一周マラソン大会 一橋中

1月27日(火)、一橋中学校1・2年生による皇居一周マラソン大会が行われました。

桜田門内広場を出発・ゴール地点に学年・男女別に5分おきにスタートしました。

当日は、厳しい寒さでしたが、生徒たちは一周約5kmのコースに元気よく飛び出し、全員がゴールしました。

三学期のできごと

幼・小・中連合作品展

絵画や彫刻・書道など、区立幼稚園・小・中学校の子どもたちが制作した作品が、2月4日から6日まで富士見小学校講堂に展示されました。

遠足

鎌倉にて　九段中

青山子どもの城「めずらし楽器大集合」番町幼

幼稚園・保育園・小学生ふれあい給食

お茶の水小

4月から小学1年生となる神田保育園・西神田保育園・お茶の水幼稚園の園児とお茶の水小学校1年生が、2月27日(金)に、お茶の水小学校で「ふれあい給食」を行いました。

雅楽教室

この春、区立中学校を卒業する生徒全員を対象に恒例の雅楽教室が3月5日(金)に行われました。皇居東御苑内において、宮内庁楽部の方々の演奏と舞いを鑑賞しました。

千代田区立中学校卒業の良い思い出となることでしょう。

和泉小学校ビッグバンド部『定期演奏会』が開かれます

今回は、ゲストに椎名 豊トリオを迎え、さらにパワーアップした演奏会を目指しています。ジャズの楽しさを十分に味わってください。

曲　目／茶色の小びん　テイクファイブ　マイファニーバレンタインほか
日　時／平成16年3月20日(土)　開場／午後0時30分　開演／午後1時
会　場／和泉小　入場無料　【問合せ】和泉小 3866-3939 教頭又は長岡教諭へ

きょういく随想

「区中Pにおける PTAの役割」

千代田区立麹町中学校PTA会長
石井利之

私がPTA活動に携わってちょうど四年経ちましたが、その間に中等教育学校の試案作りから関わり、在来型中学校の整備に関する協議会にも参加させていただき、ようやく千代田区の中学校の配置が決まってきました。これまでの五校体制が十七年度から三校になることによって、区中P（千代田区立中学校PTA協議会）の活動も今後変わっていくこととなるでしょう。

これまで、区中Pの活動というと六月に総会、秋にブロック研修会を開催するのが年間行事でした。

今年度は麹町中学校が開催校でした。例年開催されているブロック研修会は、講師の方をお招きして講演会を開いていました。毎回、興味深く、ためになる話ではありましたが、昨今PTA会員が減少している現状の中で、保護者の動員をかけ、決して安くはない講師料を毎回支払って、講演会が終わったら解散というのでは、経費もかかるし、保護者に負担をかけてしまうこともあります。

私は、せっかく五校の保護者が集まったのですから、もっと有意義な会にできないものかと思い、検討した結果、各校の委員会より二名以上参加してもらい、副会長、学年委員、生活委員、広報委員、保健・成人教育委員の五部会の協議会に分かれ『PTA活動の活性化への提言』というテーマで各校の活動報告をしてもらい、あとは自由に話し合ってもらう討論会形式にしてみました。

各校で長年受け継がれてきたPTA活動は、学校ごとに特色があり、参考になることもあるし、感心させられる事柄も多々ありました。参加者から大変良い手応えを得られたように思いました。

PTA活動の共通目標は、子どもたちがより良い教育環境の中で伸び伸びと学生生活を送れるように、保護者と教師が連携を密にし、地域との関係も強化していくということです。

現社会では、ひと昔前までは考えにくい凶悪事件が多発しています。行政と学校だけでは防犯に対応しきれない部分を、地域住民、事業所、警察などと連携していかなければなりません。PTA活動として、地域のお祭りや、子ども会、ボランティアに参加している学校もあります。

PTAの役割が、年々増えてきていますが、仕事を持っている保護者が多くなってきているのも現実で、クリアしなければならない問題も出てきています。それから、PTAの横のつながりを深め、情報交換していこうということです。

まさに十六年度から神田地区三校の交流事業が始まります。期待と不安を抱いている保護者の方々が上手く交流できるよう、今回の企画が多少なりともお役に立てればと思います。

いしい　としゆき

きょういく随想

編集後記

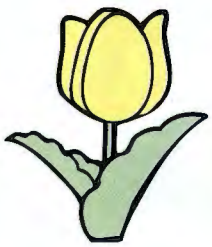
新年もあわただしく過ぎ、もう卒業式のシーズンとなりました。

大人になってしまうと、一年があっという間で、だんだん感慨もなくなってしまいますが、子どもたちは、その一年でめざましく成長していきます。

昨年の4月に担当になってから、様々な取材の機会がありましたが、子どもたちの成長の様子に驚くことがたびたびでした。

さて、今号では「不登校対策」を特集しました。次世代を担う子どもの健全育成に不登校対策は大変重要です。

不登校となる要因やきっかけは様々ですが、教育委員会では、相談体制等を充実させ、早期対応に取り組んでいきます。



「かけはし」についてのご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。

教育広報「かけはし」第六十三号
平成十六年三月十七日発行
編集発行／千代田区教育委員会
〒102-8688　千代田区九段南1-6-11
☎（ダイヤルイン）03（5211）4273